



平成25年 田村市立志式



立志の言葉を述べる
橋本航さん（大越中）と安齋未来さん（船引中）

志を立て、次世代を担う人へ



代表で立志証書を受け取る佐藤直弥さん（要田中）

武家社会で、数え15歳で迎える「元服」にならう立志式が1月16日、市文化センターで開かれました。市内の中学2年生391人が出席し、将来の夢に向かって目標を定め、社会に貢献できる人に成長することを誓いました。

式では、助川教育長が「自分の夢や決意を実現させるため、甘えを捨て、熱き思いとひたむきな気持ちを持って自らを鍛えてほしい」と式辞を述べ、富塚市長が各中学校の代表者に立志証書を手

渡して、「志をあらためて立て、市や県、日本を背負う人材に成長してほしい」と激励の言葉を送りました。立志の言葉では、生徒代表の橋本航さん（大越中）と安齋未来さん（船引中）が「夢の実現のため、たゆまぬ努力を続けていきます」などと力強く決意を述べました。

記念講演では、聖光学院高等学校で野球部監督の齋藤智也さんが「甲子園への道」と題して貴重な体験談を熱心に語りました。



滝根中 蒲生奏さん
立志式という式典の代表として参加できることを誇りに思います。将来は子どもの見本になれるような大人になりたいです。



大越中 松本瑠奈さん
何事も諦めず、社会に貢献できるような大人になれるばいと思います。立志式の代表に出られて、うれしく思います。



都路中 渡辺美空さん
立志式の代表として、中学校の名に恥じないよう臨みました。何事にもチャレンジして、いろんなことをやってみたいです。



常葉中 佐藤祐芽子さん
ソフトボール部の主将をやっているの、部を引っ張っていきけるように自分から行動したいです。人の役に立てるようになります。



船引南中 郡部翼さん
式に参加でき、良かったです。これからどういう自分になっていきたいかを考え、高い意識を持っていきけるよう再確認したいです。



船引中 松壽雄記さん
人が困っているときに率先して助けられるような大人になりたいです。目標を一つずつこなして立派な中学校生活を送りたいです。



移中 菊地奨生さん
今の目標は、しっかり勉強することです。来年は受験生になるので、目標の学校に入れるよう努力していきたいです。



要田中 佐藤直弥さん
学校の代表として大きな式に出られて、大変うれしく思います。スポーツと勉強を両立させ、立派な大人になりたいです。



大越中 橋本航さん
成人まで、あと5年しかないの、その心構えをしっかり立てられるようにしたいです。市の復興に貢献できるようにしたいです。



船引中 安齋未来さん
将来は、人の役に立てるような職業に就きたいと思っています。何事にも全力で挑戦していきたいと思っています。



▲厳肅な中、富塚市長から激励の言葉が送られました



▲演題「甲子園への道」について記念講演を行う齋藤智也監督